

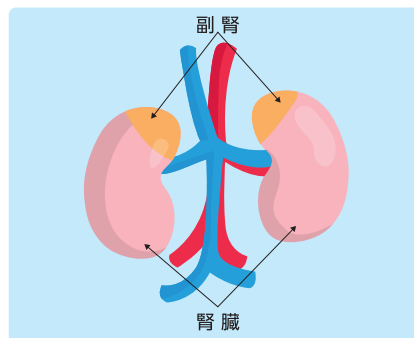
副腎皮質シンチグラフィを受ける方へ

監修：群馬大学大学院医学系研究科 放射線診断核医学 樋口 徹也 先生
一般社団法人 日本核医学会 放射線防護委員会

1

副腎皮質シンチグラフィとは

副腎は腎臓のそばにあるホルモンを分泌するための器官です。その副腎の機能の評価、病巣の診断に副腎皮質シンチグラフィが用いられます。副腎皮質シンチグラフィは、副腎皮質に集まる性質を持つアドステロールに放射性ヨウ素を標識した放射性医薬品を注射して副腎皮質に集積させたのち、放出される微量なガンマ線を体外のガンマカメラで撮影する検査です。



2

検査前の確認事項

以下のいずれかに該当する場合は、あらかじめ検査スタッフにお伝えください。

- 18歳未満の方
- アルコールに強い反応を示す方
 - * お薬のなかにはアルコールが含まれています。
 - * 車の運転に支障がある量ではありませんが、気分がすぐれないときは運転を控えてください。
- 治療中のためお薬を服用されている方
- 妊娠中の方・妊娠の可能性がある方、授乳中もしくは乳幼児がいる方
- これまでにアルコールや何かのお薬でアレルギー反応を起こしたことがある方

3

副腎皮質シンチグラフィによる被ばくについて

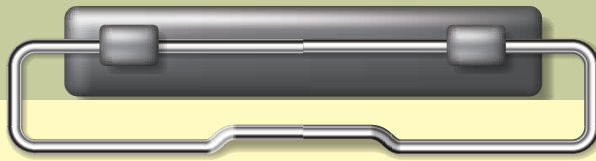
副腎皮質シンチグラフィ検査1回あたりの被ばく線量は全身の吸収線量でおよそ4.4mGy^{*1}、実効線量でおよそ33.3mSv^{*2}ですが健康被害の心配はないと考えられる線量です。

* 基になっている体内分布データの違い、吸収線量と実効線量の計算の違い等によって、数値に差を生じていると考えられます。

*1 アドステロール[®]-I131注射液(2022年3月改訂 第2版)

*2 ICRP Publication 80, Radiation Dose to Patients from Radiopharmaceuticals: a Compendium of Current Information Related to Frequently Used Substances. Ann ICRP 80. 1998; 28: 81.

副腎皮質シンチグラフィの流れ



注射前

- アドステロール注射液中に含まれる微量の放射性ヨウ素が甲状腺に集積しないようにするために、前処置として注射の前日より検査終了翌日まで、ヨウ素薬を1日1回飲んで頂きます。
- 検査の内容によっては、デキサメタゾンという薬を注射の数日前より検査終了日まで飲んで頂くことがあります。

注射～検査当日まで

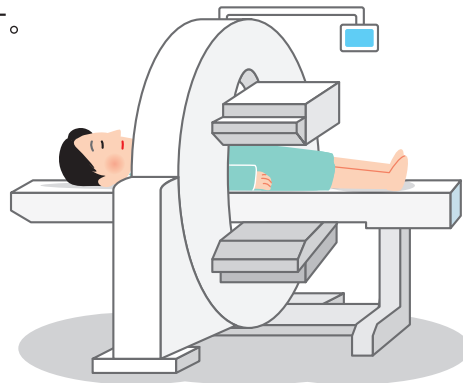
- アドステロールを静脈より注射します。
- 注射7日目以降に再度来院いただき、ガンマカメラで撮影します。
- 検査前日に下剤を服用いただく場合があります。
- 食事の制限は特に必要ありません。

検査当日

- ベッドの上に仰向けになった状態で撮影をします。
- 検査時間は1回15～30分程度です。
- 鮮明な画像を得るためにもできるだけ体を動かさないでください。

※撮影前にはネックレス等の金属類、また金具・ボタンのついた衣類や下着ははずしてください。

お薬の服用や検査日時については
医療スタッフの指示に従ってください。



ヨウ素薬の服用 _____ 年 _____ 月 _____ 日より
デキサメタゾン _____ 年 _____ 月 _____ 日より
アドステロール注射日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ : _____
検査日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ : _____

ご不明な点、ご不安に感じる点がありましたら、
お気軽に医療スタッフにお尋ねください。
なお、ご都合により検査を受けられない場合、
また検査の時間に遅れる場合にはかならずご連絡ください。

病院名および連絡先